

# 調布市公共サイン整備計画

京王多摩川駅

令和 8 年 3 月

調布市

## 目次

第1章 計画の目的	
1. 目的	1
2. 計画の位置づけ	2
第2章 サイン整備の対象範囲と整備期間	
1. 対象範囲	3
2. 整備期間	4
第3章 サイン整備の基本的な考え方	
1. 基本的な考え方	5
2. サインの種類	5
3. 基本的事項	6
第4章 個別基準	
1. 案内サイン	8
① 案内図の種類と縮尺	8
② 掲載する情報と内容	8
③ レイアウト	10
④ 形状	11
2. 誘導サイン	13
① 誘導サインの種類	13
② 掲載する情報と内容	13
③ レイアウト	15
④ 形状	16
第5章 配置計画	
1. 配置の考え方	17
2. 配置計画	17
第6章 今後に向けて	
1. 整備の進め方	20
■各種サインデザイン	

# 第1章 計画の目的

## 1. 目的

調布市では、「調布市バリアフリー基本構想（旧構想）（平成24年3月）」に基づき、だれにもわかりやすい公共サインの整備を推進するため、統一的な考え方に基づく公共サインに係る基本的な考え方を定めた「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」を策定しました。その後、「調布市公共サイン整備方針」に基づき、スポーツ祭東京2013のメイン会場となった味の素スタジアム周辺の飛田給駅周辺地区において、「調布市飛田給駅周辺地区公共サイン整備計画（平成24年4月）」を策定し、公共サインの整備を実施しました。

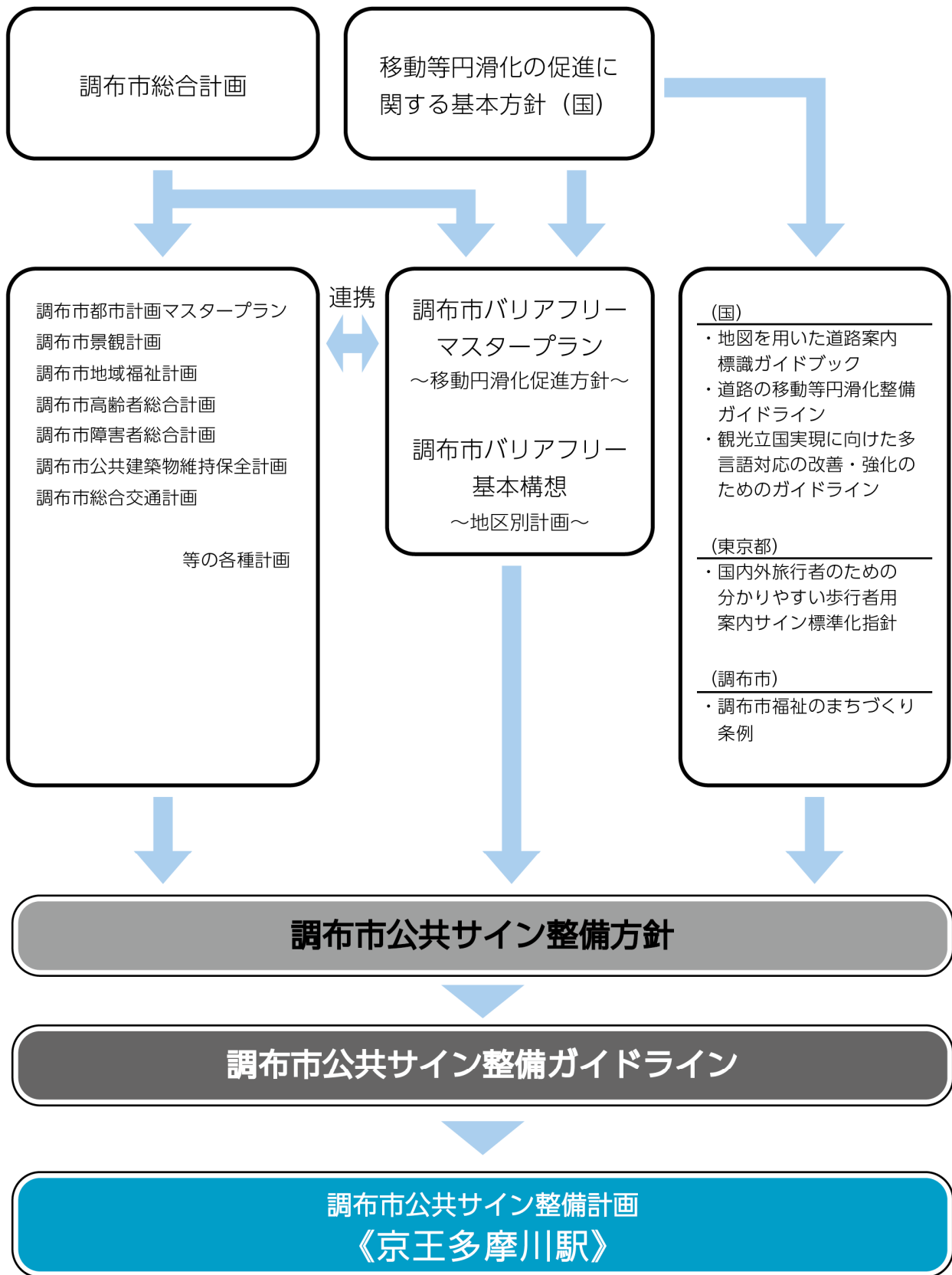
また、調布市の観光拠点の1つである深大寺地区において、地区の良好な街並みの景観維持・継承を目的とした「調布市深大寺地区公共サイン整備計画（平成25年10月）」を策定し、地区内における回遊性の向上等を目的とした公共サインの整備を実施しました。

平成26年度には、これまでの飛田給駅周辺地区及び深大寺地区における公共サインの整備を踏まえ、調布らしい魅力ある景観形成に向けた取組への配慮をしつつ、誰にもわかりやすく、安心・安全に使える、統一感のある公共サイン整備を推進していくため、調布市公共サイン整備方針の内容をより具体化し補足した「調布市公共サイン整備ガイドライン（平成27年3月）」を策定しました。

さらに「調布市バリアフリー基本構想（旧構想）」において重点整備地区に位置付けられている「調布駅・布田駅・国領駅」の3駅を中心とした中心市街地エリアでは、平成28年3月に「調布市中心市街地公共サイン整備計画（布田駅・国領駅編）」を策定し、その整備計画を基に、平成29年3月から布田駅・国領駅の駅前広場及び駅周辺に公共サインの整備を進めています。また、調布駅周辺についても、平成30年3月に「調布市中心市街地公共サイン整備計画（調布駅／第1期）」を策定し、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、公共サインの整備を進め、その後、令和4年4月に新たに策定された「調布市バリアフリーマスタープラン」に基づき、駅前広場及び駅周辺整備の完成に合わせて、「調布市中心市街地公共サイン整備計画（調布駅／第2期）」を策定し、駅前広場整備の進捗状況に併せて段階的に公共サインの整備を進めています。

このような中、「調布市バリアフリーマスタープラン」において、新たに重点整備地区に位置付けられた京王多摩川駅周辺地区においては、駅周辺の開発や福祉関連施設の移転等が予定されており、「京王多摩川駅周辺地区バリアフリー基本構想（新構想）」に基づき、計画的な公共サイン整備を実施する必要があることから、このたび「調布市公共サイン整備計画（京王多摩川駅）」（以下、「京王多摩川駅整備計画」という。）を策定し、京王多摩川駅周辺の公共空間における公共サイン整備を駅周辺整備の進捗状況に併せて段階的に推進します。

## 2. 計画の位置づけ



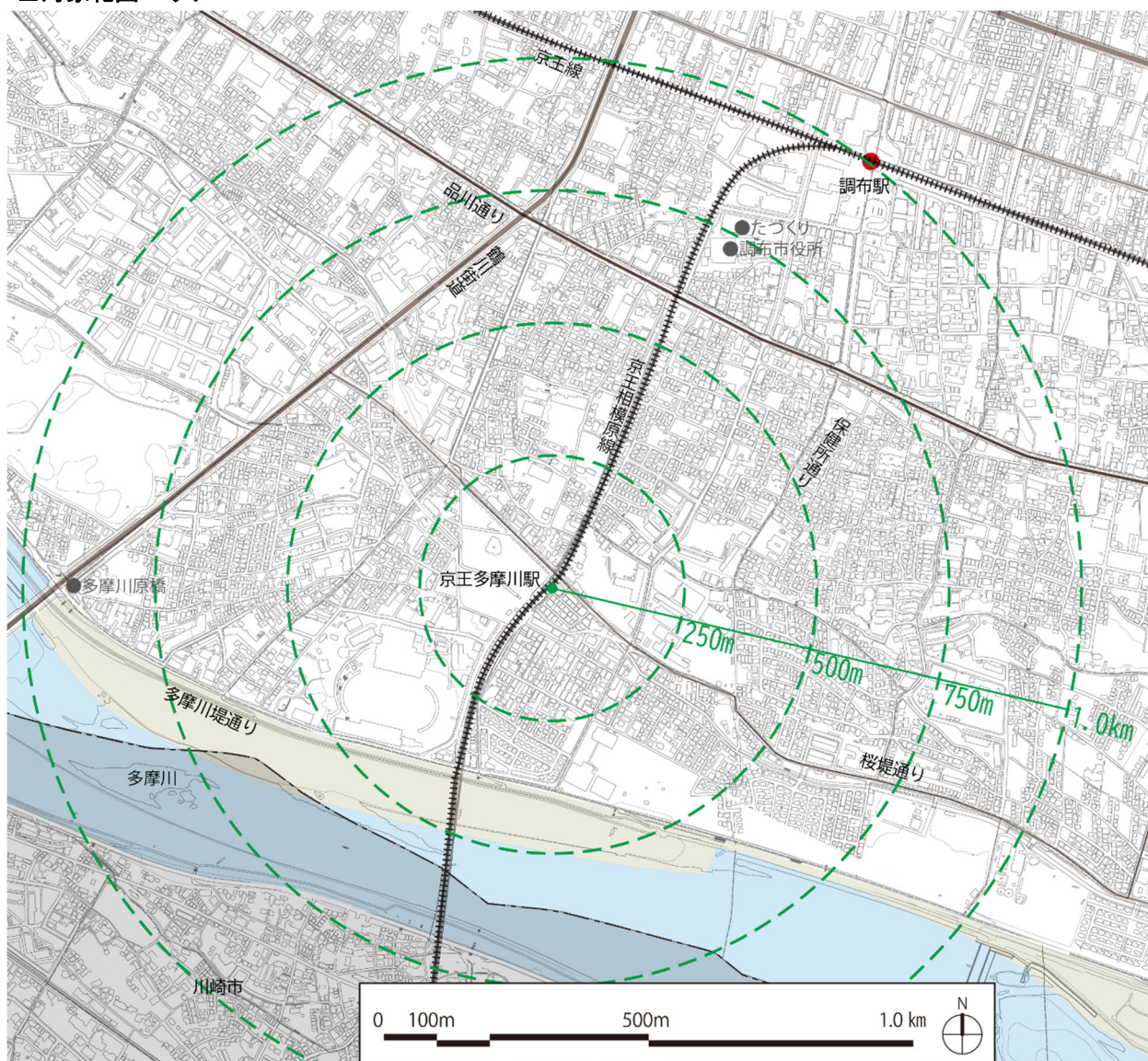
## 第2章 サイン整備の対象範囲と整備期間

### 1. 対象範囲

京王多摩川駅整備計画では、京王多摩川駅を起点とした徒歩圏内のエリアを対象範囲とします。

京王多摩川駅周辺地区	京王多摩川駅を起点に約 500m程度の範囲
------------	-----------------------

#### ■対象範囲エリア



※「この地形図は、ミッドマップ東京の東京都縮尺 1/2,500 地形図（令和7年度版）を使用して作成したものです（承認番号：MMT 利許第 07-208 号）。無断複製を禁じます。」

## 2. 整備期間

京王多摩川駅整備計画の整備期間は、「調布市総合福祉センター」等の移転時期や京王多摩川駅周辺の整備の進捗状況等を考慮し、以下のとおり定めます。

年度	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和9年 (2027年)	令和10年～ (2028年)
第1期	公共サイン整備計画 の検討・作成	公共サイン整備 (データ作成・設置等)		
関連 事項			・「調布市総合福祉セン ター」等の移転	

※社会情勢等の変化により、計画を見直す場合があります。

### 第3章 サイン整備の基本的な考え方



#### 1. 基本的な考え方

「京王多摩川駅整備計画」では、駅周辺の開発に伴う周辺の整備や社会情勢等の変化に伴う市民及び来訪者の利用目的の変化に対応するとともに、「調布市公共サイン整備ガイドライン」で掲げられた5つの基本方針に基づき、ユニバーサルデザインや安全性に十分配慮しつつ、公共空間における良好な景観形成に寄与する公共サイン整備を行っていきます。

実際の整備にあたっては、市内における公共サインの統一性を確保していくため、「調布市公共サイン整備ガイドライン」の内容に準拠し、案内サイン地図面に掲載する公共施設名称等の表記方法と公共サイン整備後の維持管理体制について、公共施設管理者及び道路管理者との調整の上、公共サインの整備を順次進めます。


#### 2. サインの種類

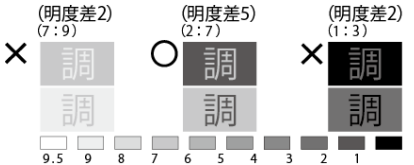
「京王多摩川駅整備計画」では、次に示す公共サインについて整備方針を定め、整備を行います。

種類	機能	該当例	設置想定箇所
案内サイン 	施設全体を示し、現在位置との相互関係を示す。 施設の全体像を知る。	エリアマップ	駅前広場、大きな交差点等
誘導サイン 	名称、矢印、ピクトグラム、距離の表記を用いて、利用者を目的の場所まで導く。	施設誘導	交差点、分岐点等

### 3. 基本的事項

公共サインの基本的な整備基準については、「調布市公共サイン整備ガイドライン」の内容に準拠します。また、「京王多摩川駅整備計画」において新たに追加された事項については、次のとおり設定します。

ガイドライン項目		追加事項	ガイドライン掲載頁
設置基準	サインの配置・設置方法	京王多摩川駅周辺地区では、鉄道駅を行動起点としたうえで終点となる誘導施設を特定し、その間の要所にサインを順次配置していきます。	P10~12
	サインの設置高さおよび大きさ	<p>対象サイン外のものを含めた複数のサインが同一の場所に設置される場合は、統一感のある設置高さ及び大きさとしします。(例：駅前広場などの多機能のサインが設置される場所など)</p> <p><b>〈設置高さ・大きさ目安〉ガイドライン抜粋</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近距離から見るサインの設置高さ、その中心を 1,250 mm 程度の高さにします。また、案内図などの詳しい情報は、車いす利用者も無理なく判読できるように 1,250 mm 程度を表示面の中心にします。</li> <li>・地図などの情報量の多いサインについては、視力の弱い人が表示面から 50 cm 程度の距離から見渡せる範囲を基準とし、一つの地図面当たり 1m 四方程度の大きさとしします。 → 視方角（視軸と視対象のなす角）が 45° 以下では表示内容の誤読率が増加します。そのため、視方角と視距離を意識した、適正な大きさとしします。</li> </ul>	P13
表示基準	ピクトグラムと各種デザイン	<p>地域特性及び J I S 規格等の改定や変更に応じ、追加で使用することも可能としします。</p> <p>左より 市章／京王線路線マークと駅ナンバリング ※路線マーク等については、鉄道事業者と事前調整が必要</p>  <p>※国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針歩行者編／東京都／平成 27 年 2 月</p> <p>J I S 規格化された標準案内図記号については、訪日客の増加やユニバーサルデザイン等の対応を含め改訂も想定されるため、それらに対応していきます。</p>	P14~16
	書体	視認性等を重視し、和文字については「UD新ゴシック体」、英文字については「ヘルベチカ」を基本としします。	P17~18

ガイドライン項目	追加事項	ガイドライン 掲載頁															
<p>文字の大きさ</p>	<p>日本語の見やすさ、ひらがなと英語を組み合わせたときのバランスを考慮して、視認距離との関係踏まえた文字の大きさを基本とします。</p> <p><b>〈文字の大きさ〉ガイドライン抜粋</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠くから視認する吊下型等の誘導サインや位置サイン等は20m以上、近くから視認する自立型や壁付型等の案内サイン等は4～5m以下に視距離を設定することが一般的です</li> <li>右表は、前記の想定のもとに各々の視距離から判読できるために通常有効な文字の大きさを示しています。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="778 593 1193 719"> <thead> <tr> <th>視認距離</th> <th>和文字</th> <th>英文字</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30m</td> <td>120 mm 以上</td> <td>90 mm 以上</td> </tr> <tr> <td>20m</td> <td>80 mm 以上</td> <td>60 mm 以上</td> </tr> <tr> <td>10m</td> <td>40 mm 以上</td> <td>30 mm 以上</td> </tr> <tr> <td>4m～5m</td> <td>20 mm 以上</td> <td>15 mm 以上</td> </tr> </tbody> </table>	視認距離	和文字	英文字	30m	120 mm 以上	90 mm 以上	20m	80 mm 以上	60 mm 以上	10m	40 mm 以上	30 mm 以上	4m～5m	20 mm 以上	15 mm 以上	<p>P19</p>
視認距離	和文字	英文字															
30m	120 mm 以上	90 mm 以上															
20m	80 mm 以上	60 mm 以上															
10m	40 mm 以上	30 mm 以上															
4m～5m	20 mm 以上	15 mm 以上															
<p>色彩</p>	<p>ガイドラインで推奨されている背景と文字色の明度差が5以上を確保され、周囲の景観から突出しない落ち着いた色彩として西調布駅（整備済み）で使用実績もある「茶系」（マンセル値：5 Y R 3 / 1（右色見本参照））の色彩を基本としていきます。※必要に応じて今後の整備の際に見直しを行います。</p> <p><b>〈色彩／整備の際のポイント〉ガイドライン抜粋</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>背景色と文字色に、なるべく5以上の明度差をつけます</li> </ul> 	<p>P20～21</p>															
<p>表記方法</p>	<p>多言語表記については、原則、日本語と英語の2言語とします。また、日本語については、情報量及び表示面の煩雑さを考慮し、原則、ルビは表示しない。ただし、やさしい日本語への対応として、必要に応じて日本語のルビも可能とします。</p>	<p>P22～23</p>															
<p>その他</p>	<p>高齢者、障害者等の移動等の円滑化に配慮した案内の整備を検討します。</p>	<p>—</p>															

## 第4章 個別基準

案内サイン及び誘導サインの基準については、「調布市公共サイン整備ガイドライン」の内容に準拠します。「京王多摩川駅整備計画」で新たに定めた事項については、次のとおり設定します。

### 1. 案内サイン

#### ①案内図の種類と縮尺

- ・周辺施設の立地状況及び市民や来訪者の利用目的等を踏まえ、地域情報と周辺施設情報の把握を支援する「周辺案内」を採用します。

種類	利用目的	主な掲載情報	縮尺	地図の向き
周辺案内	現在地周辺の地域情報と周辺の施設情報の把握を支援	・移動範囲内における地域情報を掲載 ・鉄道、主要道路及びバス路線等の表示	1/1,000 程度 →1km 四方程度の歩行範囲を表示	前方を上

#### ②掲載する情報と内容

- ・案内図の地図面に表記する施設名称等については、他のサイン及び調布市が発行している地図等の統一を図り、同様の名称を使用するものとします。
- ・案内図の地図面の施設名称等の文字表記については、一つの建物内に複数の施設が集中していることも考えられるため、日本語、英語の2言語とします。ただし、鉄道駅や市役所、主要な観光施設等の多くの利用者が予想される施設については地図面の煩雑さ等を踏まえつつ、必要に応じて中国語（簡体字）、ハングルを加えて4言語で表記します。
- ・案内図の地図面の施設名称等の日本語の文字表記については、情報量及び表示面の煩雑さを考慮し日本語のルビを表記しませんが、今後の社会情勢等によっては、やさしい日本語への対応等を踏まえ、必要に応じて日本語のルビの表記も可能とします。
- ・案内図の地図面に掲載する情報については、「1-2 表示内容の基本ルール／調布市公共サイン整備ガイドライン（P9 参照）」の内容及び、統一的な表現を行うことを踏まえ、次頁に示す施設等を周辺案内サインの掲載基準とします。ただし、情報量による地図面の煩雑さ等を踏まえて、掲載の可否を決定します。
- ・設置位置に案内図があることを示すため、必要に応じてインフォメーションマーク（i マーク）を掲出するとともに、案内サインの地図面にも設置場所に i マークを表示します。ただし、掲出する際は、交通の妨げにならないように配慮することとします。
- ・駅周辺など多くの来訪者が予想される場所においては、観光案内等の手助けとなるQRコード等の掲載を検討します。（市が総合的な観光案内として活用しているものが対象）ただし、案内図の地図面に関連する情報を優先して表示します。

■周辺案内サイン（1/1,000）の地図面への建物名称等の掲載基準

掲載する項目		名称等の表示の掲載基準
行政区分	市名	・行政区分の名称, 町丁, 地番
	丁名	
鉄道 道路 河川	路線名	・名称
	高速道路名	・名称, IC名称
	道路名	・道路名称(複数ある場合は認知度の高い通称名等にする。) ※国道及び県道についてはマークを採用
	交差点名	・主要な交差点名称
	河川名	・移動の手掛かりとなる橋やデッキ等の名称
交通施設	駅名	・駅名称
	バス停名	・バスターミナル, バス停※タクシー乗り場はピクト表示のみ
公共施設 ・ 公益施設	庁舎・出先機関	・全て
	警察署, 交番	・警察署は名称を表示し, 派出所・交番はピクトによる表示
	消防署	・消防署及び出張所は名称を表示
	郵便局	・集配機能のある局は名称表示し, その他についてはピクト表示のみ
	国の機関, 公共地方サービス機関	・全て
	病院	・緊急医療救護所を設置する9つの病院 ・(仮称)調布市医療ステーション(小島町歯科診療所, 休日夜間急患診療所) ※案内サイン地図面の掲載範囲周辺にある場合のみ掲載
	学校	・小学校・中学校・高等学校・大学・短期大学等
	福祉施設	・公共の福祉施設(設置主体が「市」である施設)
	体育館, 運動場	・全て
	団地・集合住宅	・公共的なもの及び行動の手掛かりとなる大規模なもの
	駐車場	・公共は全て(※小規模なものは除く)
	駐輪場	・ピクトのみ表示(※一時利用が可能な場合はその有無を表示)
	その他	・主要な公共的施設 ・NTT, ガス, 電力会社などの本支店
文化施設	公会堂	・公共は全て
	公民館	・公共は全て
	図書館	・公共は全て
	公園	・街区公園より大規模な公園のみ名称とピクトグラムを表示 ・その他は, ピクトグラムのみ表示。
	植物園	・公共は全て/その他は観光マップに掲載されているもの
	美術館, 博物館, 劇場	・公共は全て/その他は観光マップに掲載されているもの
	その他	・観光マップに掲載されている文化的な施設
公衆便所	公衆便所	・ピクト表示のみ※ただし, 時間制限があるものは使用時間制限表記
名所 ・旧跡	神社, 仏閣, 寺院, 教会	・観光マップに掲載されているもの
	史跡	・国又は自治体が指定している文化財・史跡名勝 ※寺社仏閣や碑など(書物等は除く)
宿泊施設	ホテル, 旅館	・調布市観光協会 HP に掲載されている施設または大規模なもの
商業施設	百貨店, スーパー等	・利用者も多くランドマーク性が高い大規模な小売店舗(1,000㎡以上) ※24h 営業のコンビニエンスストアを必要に応じてピクト表示
店舗	銀行	・ピクトによる表示のみ(海外発行カード対応 ATM がある場合は必要に応じて追加でピクトを表示)
公共設備	エレベーター, エスカレーター, 階段	・道路上及び公共交通機関出入口等にピクト表示
その他	ランドマーク施設等	・道路の結節点に位置し, 地点を確認するのに有効と考えられる施設 ・広範囲に渡って, 視認可能な高さを有する施設
	避難場所等	・広域避難場所及び避難所

- 案内図の地図面のデザインについては、次の色彩を参考に視認性や判読性を確保した色彩を使用します。

区分	施設名	色彩例	色 (Pantone No.) (参考)		
			仕様	CMYK値	
緑地	森		Pantone:376C 枠線無し	60-0-100-0 -	
	公園・緑地		Pantone:390C 枠線無し	40-0-100-0 -	
	緑道		Pantone:5865C 枠線無し	0-0-30-10 -	
	水域 湖、池、河川		Pantone:292C 枠線無し	50-10-0-0 -	
施設	敷地		Pantone:467C Proces Black 0.1mm	10-20-40-0 0-0-0-100	
	名称表記 一般施設		Pantone:Warm Gray 1C 枠線無し	0-0-0-10 -	
	名称表記 大規模競技場		Pantone:Warm Gray 1C Proces Black 0.2mm	0-0-0-10 0-0-0-100	
	駅舎 高架等		Pantone:Warm Gray 1C Proces Black 0.2mm	0-0-0-10 0-0-0-100	
	地下街		Pantone:420C Cool Gray 10C 0.2mm	0-0-0-25 0-0-0-72	
	歩道橋・ ペDESTリアンデッキ		Pantone:Warm Gray 1C Proces Black 0.2mm	0-0-0-10 0-0-0-100	
	道路	高速道路等		Pantone:Warm Gray 4C Proces Black 0.2mm	30-30-30-0 0-0-0-100
		モール・歩行者 専用道路等		Pantone:121C 枠線無し	0-10-70-0 -
	鉄軌道	鉄道軌道		Pantone:Cool Gray 9C 3.0mm	0-0-0-65
		地下鉄軌道 (トンネル部)		Pantone:Cool Gray 9C 3.0mm 破線	0-0-0-65
バス路線			Pantone:Red 032C 0.35mm	0-100-100-0	

区分	施設名	色彩例	色 (Pantone No.) (参考)	
			仕様	CMYK値
バリアフリー 経路	バリアフリー 経路		Pantone:Red 032C 3.0mm 破線	0-100-100-0
境界線	市境界線		Pantone:Cool Gray 8C 2.0mm 一点鎖線	0-0-0-55
	町境界線		Pantone:Cool Gray 8C 1.0mm 破線	0-0-0-55
	丁目境界線		Pantone:Cool Gray 8C 1.0mm 点線	0-0-0-55
現在地	現在地表示		Pantone:Red 032C 枠線無し	0-100-100-0 -

安全色青		100-60-10-0
安全色緑		100-20-70-0
安全色黄		0-20-90-0
横断歩道		0-0-0-40
住所等グレー文字		0-0-0-65
歩道橋階段		0-0-0-55

※「地図を用いた道路案内標識ガイドラインブック」より作成

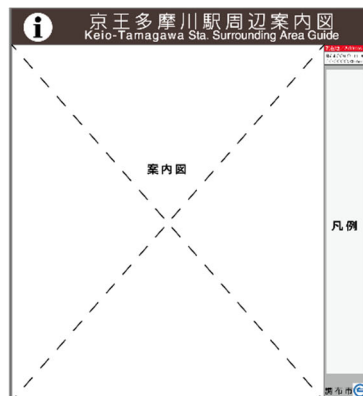
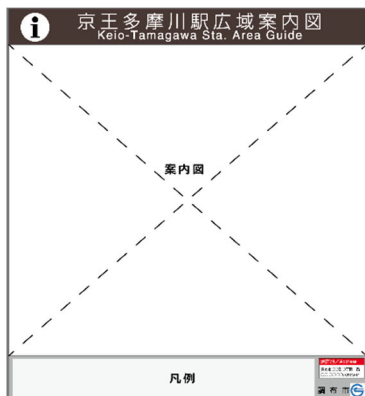
### ③レイアウト

- 表示面のレイアウトについては、タイトル、案内図、インフォメーションマーク、凡例、現在地、及び市章を視認しやすいよう、次のとおり配置します。

表面	案内図を中心にタイトルは上端、凡例及び現在地は右側又は下端へ配置
裏面	タイトル、現在地を表示。設置場所の通りに道路通称名等がある場合は表示面の中央に表示

※裏面については、設置状況及び設置基数を踏まえ、視認性の確保や景観的な配慮を検証するものとする。

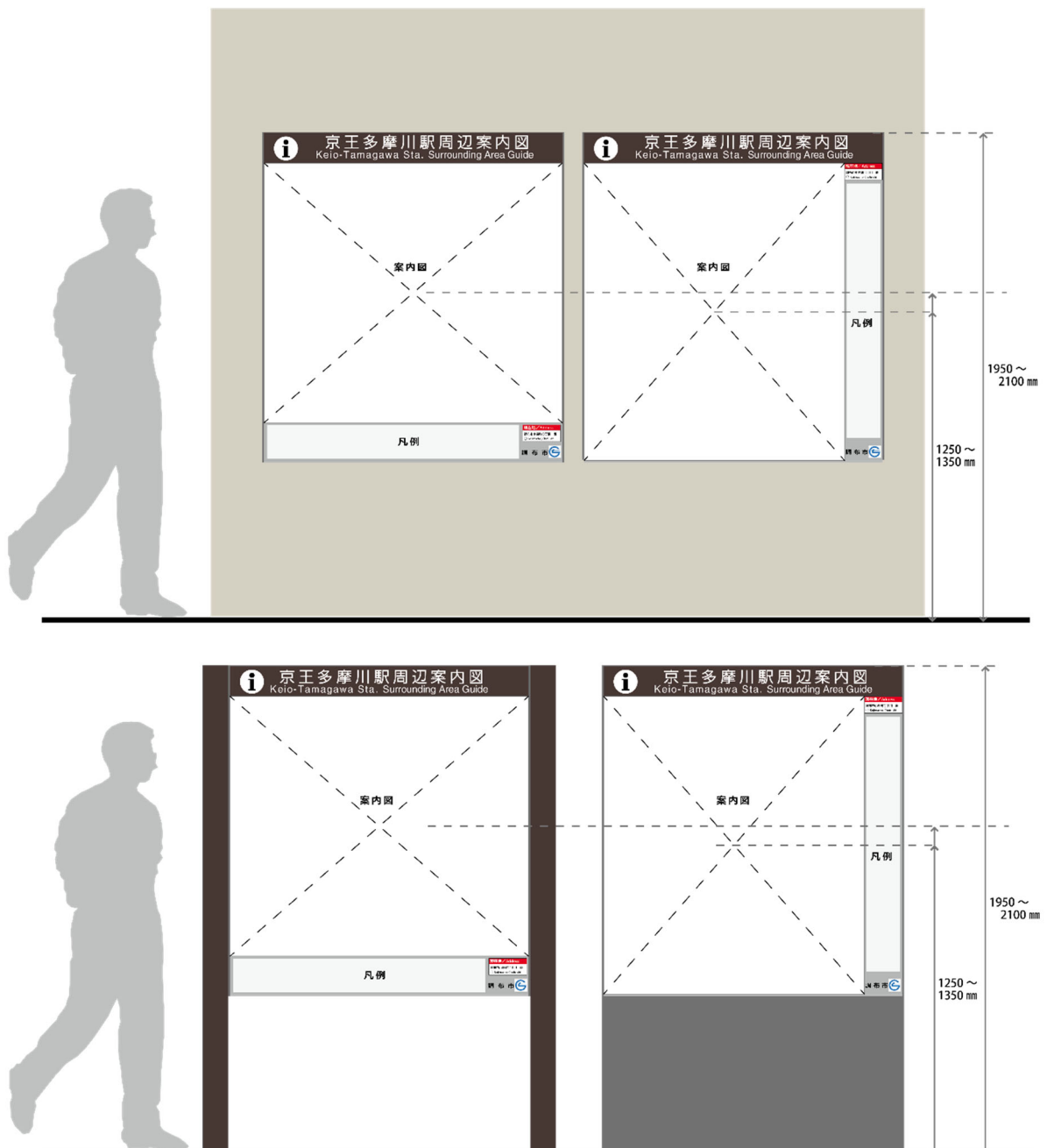
#### ■表示面のレイアウト (左・中央：表面 / 右：裏面)



#### ④形状

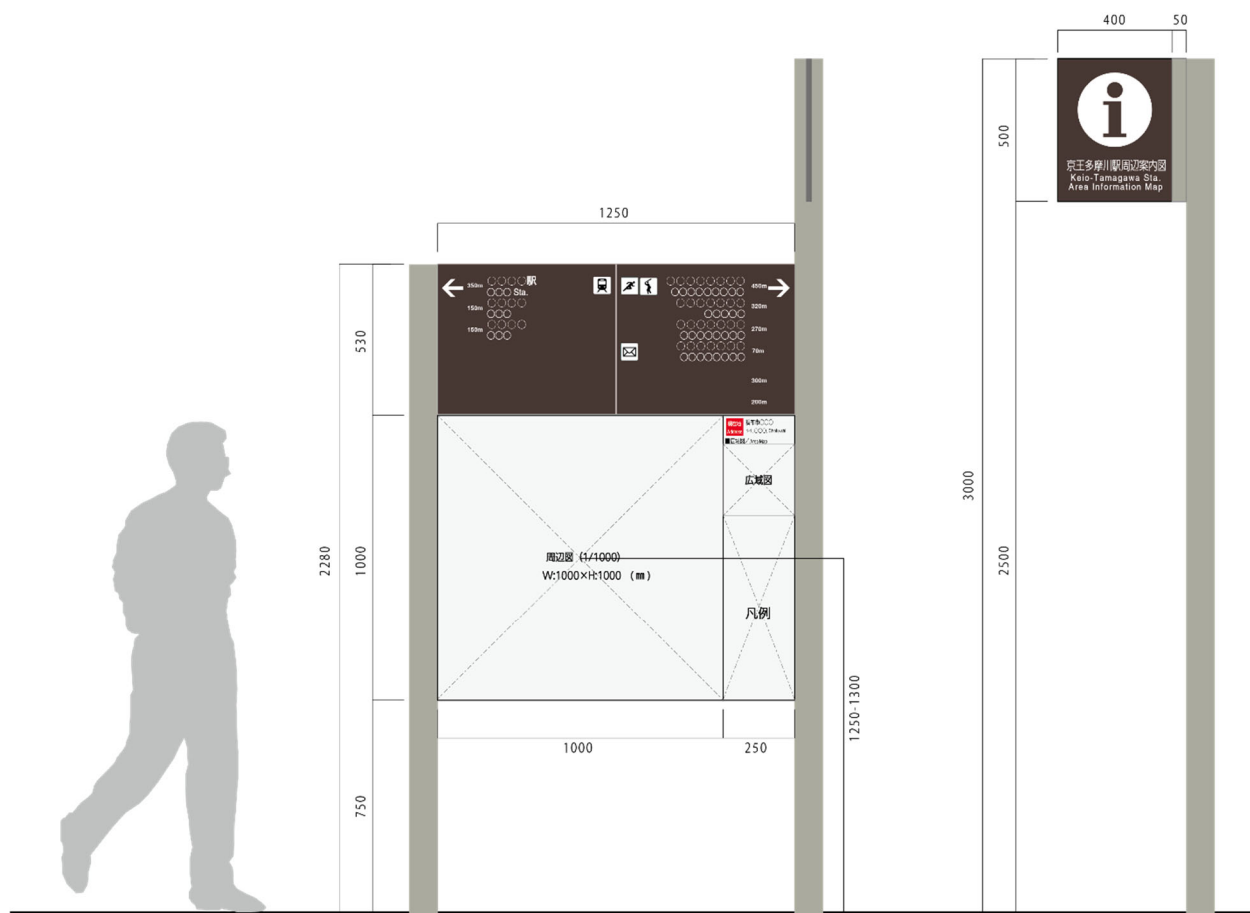
- ・案内サインは原則、自立型とします。ただし、駅前広場など利用者の多い場所では、歩行者動線も考慮し、状況に応じて壁付け型の選択を可能とします。
- ・総合案内サインなどで一体的に整備する場合は、その他のサインとのデザイン、素材感等の統一を図ります。
- ・周囲の街づくりの状況を意識しつつ統一感を意識した過度に装飾のないシンプルなデザインとします。
- ・素材については、美観的に維持しやすく、耐久性、耐候性に優れた素材とし、必要に応じて、防錆、はり紙及び落書き防止等の表面処理を行います。
- ・安全面に考慮しつつ、必要に応じて、インフォメーションマーク（iマーク）を掲出します。

#### ■案内サインの全体形状イメージ（上段：壁付け型／下段：自立型）



■誘導サインとの併設置イメージ

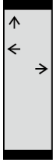
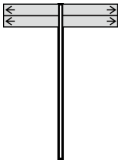
《周辺案内+誘導（自立型）》※上部にiマーク表記あり



## 2. 誘導サイン

### ①誘導サインの種類

- ・道路の状況や誘導施設数に応じて、立板タイプと羽板タイプを採用します。

種類	特徴	主な設置場所
<p>立板タイプ (壁付け型含む)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示面が大きいことから、誘導すべき施設が多い、多方面への施設誘導が必要な場所での使用が可能です。</li> <li>・案内サインと連携して掲出することが可能で、デザイン等の統一が図りやすくなっています。(表示面の状況によっては地図情報の掲載も可能)</li> <li>・既存の壁等を活用できるため、道路上に設置スペースがない、通行量が多くて道路上への設置が難しい場所でも設置が可能になります。(壁や道路付属物等に添加するため、それぞれの管理者への許可が必要)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅等の交通拠点</li> <li>・主要な通りや交差点等</li> <li>・上記の設置場所において、道路上への設置が困難な場所(壁付け)</li> </ul>
<p>羽板タイプ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の距離があっても、視認性や判読性の確保が容易で表示板の向きで方向指示をすることが可能なため、視覚的な誘導が行いやすくなっています。</li> <li>・複数の方面に設置の際は、支柱から一定程度の空間の確保が必要になります。</li> <li>・目的地ごとに表示が必要のため、誘導可能な施設の数が限られます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な交差点や通りの中間点</li> <li>・施設周辺の誘導地点</li> </ul>

### ②掲載する情報と内容

- ・誘導対象とする目的地(誘導施設等)については、「1-2 表示内容の基本ルール/調布市公共サイン整備ガイドライン(P9)」の内容及び、市民及び来訪者の利用目的等を踏まえ、各駅周辺地区の次頁に示す施設等を誘導候補施設として設定しました。

※ただし、公共施設の施設利用等の状況(機能移転、施設利用停止、統合など)と「第2章 2. 整備期間」の内容を踏まえ、対応するものとします。

- ・誘導対象とする目的地(誘導施設等)の日本語の文字表記については、やさしい日本語への対応としてルビを表記します。ただし、情報量及び表示面の煩雑さに応じて、ルビを省略する場合があります。

■京王多摩川駅周辺地区／誘導候補施設名称

施設分類	誘導候補施設	
	日本語表記	英語表記
文化施設	きょうどはくぶつかん 郷土博物館	Chofu Local History Museum
駅舎	けいおうたまがわえき 京王多摩川駅	Keio-Tamagawa Station
福祉施設	ちょうふしそうごうふくしせんたー 調布市総合福祉センター	Chofu-shi General Welfare Center
	しもいしわらちいきふくしせんたー 下石原地域福祉センター	Shimoishiwara Regional Welfare Center
	ちょうふしけんこうしえんせんたー 調布市こころの健康支援センター	Chofu-shi Mental Health Support Center
	ちょうふししるばーじんざいせんたー 調布市シルバー人材センター	Chofu-shi Silver Human Resources Center
病院	(仮称) ちょうふしりりょうすてーしょん 調布市医療ステーション	Chofu-shi Medical Station
公園	たまがわじどうこうえん うんどうこうえん 多摩川児童公園(運動公園)	Tamagawa Children's Park (Sports Park)
その他	とうきょうおーぶある けいおうかく けいおうかくけいりんじょう 東京オーバル京王閣(京王閣競輪場)	Tokyo Oval Keiokaku (Keiokaku Velodrome)
通り名	つるかわかいどう 鶴川街道	Tsurukawa-kaido Ave.
	さくらづつみどお 桜堤通り	Sakurazutsumi-dori Ave.
	ほけんじょどお 保健所通り	Hokenjyo-dori St.
	たまがわづつみどお 多摩川堤通り	Tamagawazutsumi-dori Ave.
河川	たまがわ 多摩川	Tama River

※駅周辺の公共施設の施設利用等の状況（機能移転，施設利用停止，統合など）と「第2章 2. 整備期間」の内容を踏まえ，対応するものとする。

### ③レイアウト

- ・表示面のレイアウトについては、タイプ別に次のように配置します。

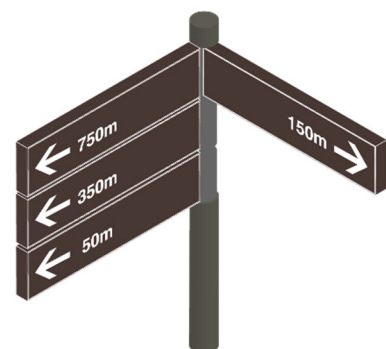
#### 《立板タイプ（壁付け型含む）》

- ・矢印を先頭に、距離、目的地、ピクトグラム順に表示します。表示面の煩雑さなども考慮しつつ、必要に応じて下段に案内図及び施設情報、規制情報（駅前広場での規制事項など）を掲載します。
- ・目的地については、上段に和文、下段に英文表示を基本とします。ただし、和文の表記については、漢字等の名称の上部にルビを表記します。
- ・目的地が複合施設の場合は、まとまりのあるわかりやすい表示を行います。
- ・複合的な施設を表示する場合は、代表的な施設名称を上部に掲載し、それ以外の施設については、文字の大きさを一段小さく表示する。また、一段小さく表示した施設は右方向の目的地の場合においても、代表的な施設から一段下げた状態で左寄せ表示とする。
- ・方向については「前方」「左方向」「右方向」の順に表示し、距離は遠い施設から順に示します。
- ・視認性を確保するため、下段部分（路面から50cm以下）に目的地を表示しません。
- ・タイトルで、横長の表記となる場合は、和文と英文を1列に並べて表示します。
- ・裏面については、設置状況に応じて現在地（道路名がある場合は道路通称名を併記）及び管理者情報を表示します。



#### 《羽板タイプ》

- ・矢印・距離・目的地及びピクトグラム順に表示し、目的地については上段に和文、下段に英文を表示します。ただし、和文の表記については、漢字等の名称の上部にルビを表記します。
- ・「右方向」の目的地については、右寄せで表示し、それ以外の方向については左寄せとします。
- ・支柱部分などの見やすい箇所に、現在地及び管理者情報を表示します。
- ・見通しのよい場所など設置場所の状況に応じて、両面表示を行います。



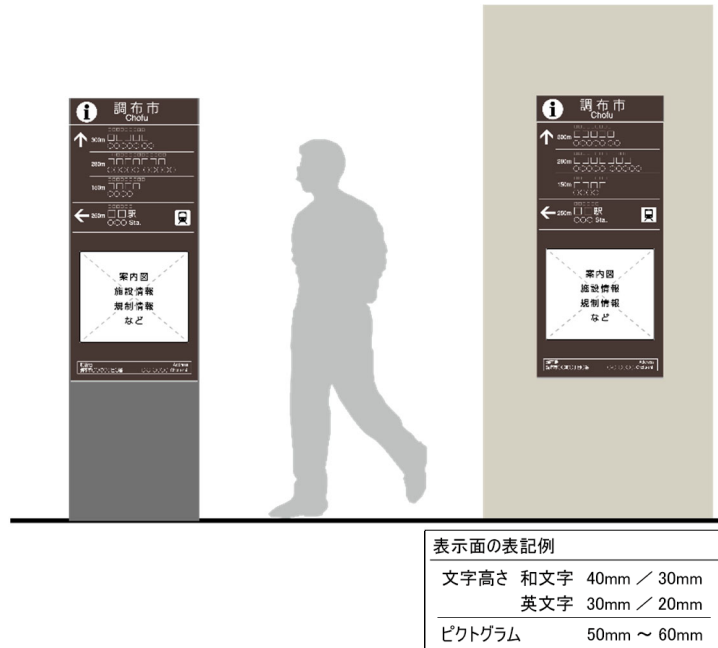
※方向ごとに距離の遠い目的地から順に設置

#### ④形状

- ・一体的に整備される案内サインのデザイン，素材感等の統一を図ります。
- ・賑わいのなかにも落ち着きを感じられる景観形成を目指して，過度に装飾のないシンプルなデザインとします。
- ・素材については，美観的に維持しやすく，耐久性，耐候性に優れた素材とし，必要に応じて，防錆，はり紙及び落書き防止等の表面処理を行います。

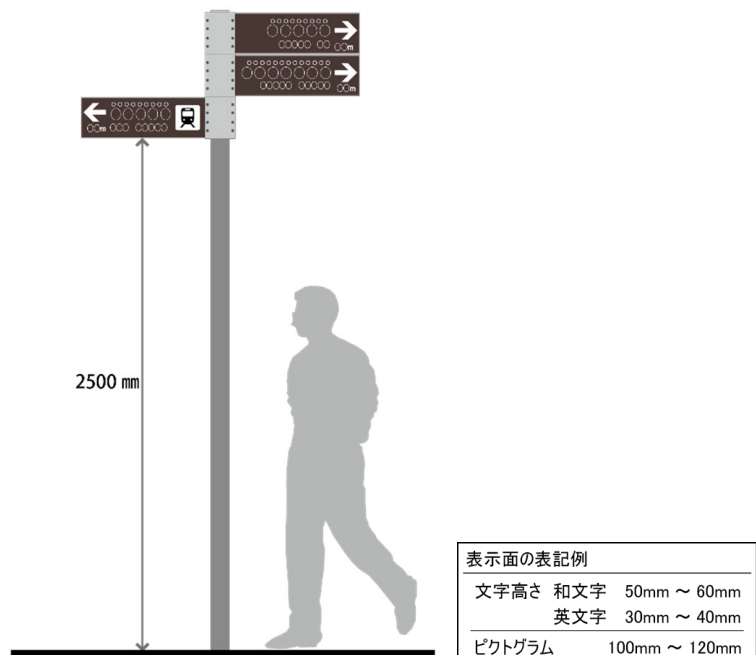
#### 《立板タイプ（壁付けを含む）》

- ・原則，自立型とし，設置場所の状況に応じて壁付け型を活用します。
- ・原則，設置高さについては，最高地上高さ2000mm程度とします。ただし，壁付けの場合は現場の状況に応じて対応します。
- ・案内サイン等と併設する場合は，設置高さを揃えます。
- ・原則，表面のみ活用します。裏面については，設置場所の状況も踏まえ，位置情報等（道路通称名や現在地など）を表示します。



#### 《羽板タイプ》

- ・原則，自立型とします。
- ・掲出高さについては，羽板の下端から路面までを2500mm以上の高さを確保します。
- ・複数の羽板を掲出する場合は，各方向の枚数差が生じないようにバランスを考慮して設置の向きを決定します。その際は，設置枚数1方向につき3枚とします。
- ・設置するスペースが少ない場所においては，表示板をプレートとして製作し，各施設の壁面，塀等への設置を検討します。



## 第5章 配置計画

### 1. 配置の考え方

- ・京王多摩川駅を行動起点とし、駅改札口周辺の視認性の高い場所に案内サインを設置します。
- ・目的地となる誘導対象施設までの道路状況及びユニバーサルデザインの視点に配慮した誘導ルートを設定し、ルート上の分岐点での道路状況及び誘導施設数を踏まえ、設置する誘導サインのタイプを採用します。
- ・各施設の誘導ルート上で分岐点に「誘導」の単独サインを設置します。また、直線が長い場合については、中間地点にも随時設置します。
- ・整備状況及びサイン利用者の状況を踏まえ、サインタイプの変更及び追加設置する場合があります。

### 2. 配置計画

- ・上記の「1. 配置の考え方」を踏まえ、行動起点から目的地までの誘導ルート及び各種サインの配置計画を次のとおり設定します。

#### ■設置場所別のサインタイプ

設置場所	案内サイン	誘導サイン	基数	誘導施設数	誘導方向数 (カッコ内は方面誘導)
	タイプ	タイプ			
①	複合	複合	1	8	西 4/東 2/南 2 (5)
②	—	立板	1	3	西 1/北 1/東 1 (2)
③	—	羽板	1	2	北 1/南 1
④	—	羽板	1	2	西 1/南 1
⑤	—	立板	1	2	西 1/東 1 (3)
⑥	—	立板	1	2	北 1/東 1 (1)
⑦	—	立板	1	3	北 2/西 1 (5)
⑧	—	羽板	1	3	東 2/南 1 (3)
⑨	—	羽板	1	2	北 1/西 1 (1)
⑩	—	立板	1	3	北 1/南 2 (2)
⑪	—	羽板	1	2	北 1/南 1 (2)
⑫	—	羽板	1	2	北 1/南 1 (2)

※各サインのイメージは「参考：各種サインデザイン」を参照

※施設や道路等の整備状況によっては、目的地までのルートやサインの利用状況等を踏まえ設置位置やサインタイプ、誘導施設数の変更を可能とします。

※市が東京都管理の道路上及び民間所有の敷地内にサインを設置する際には調整が必要

※同位置に複数基設置する際は、設置場所の状況に応じて1基でまとめられた案内誘導サインでの設置も可能とします。

■誘導対象施設一覧

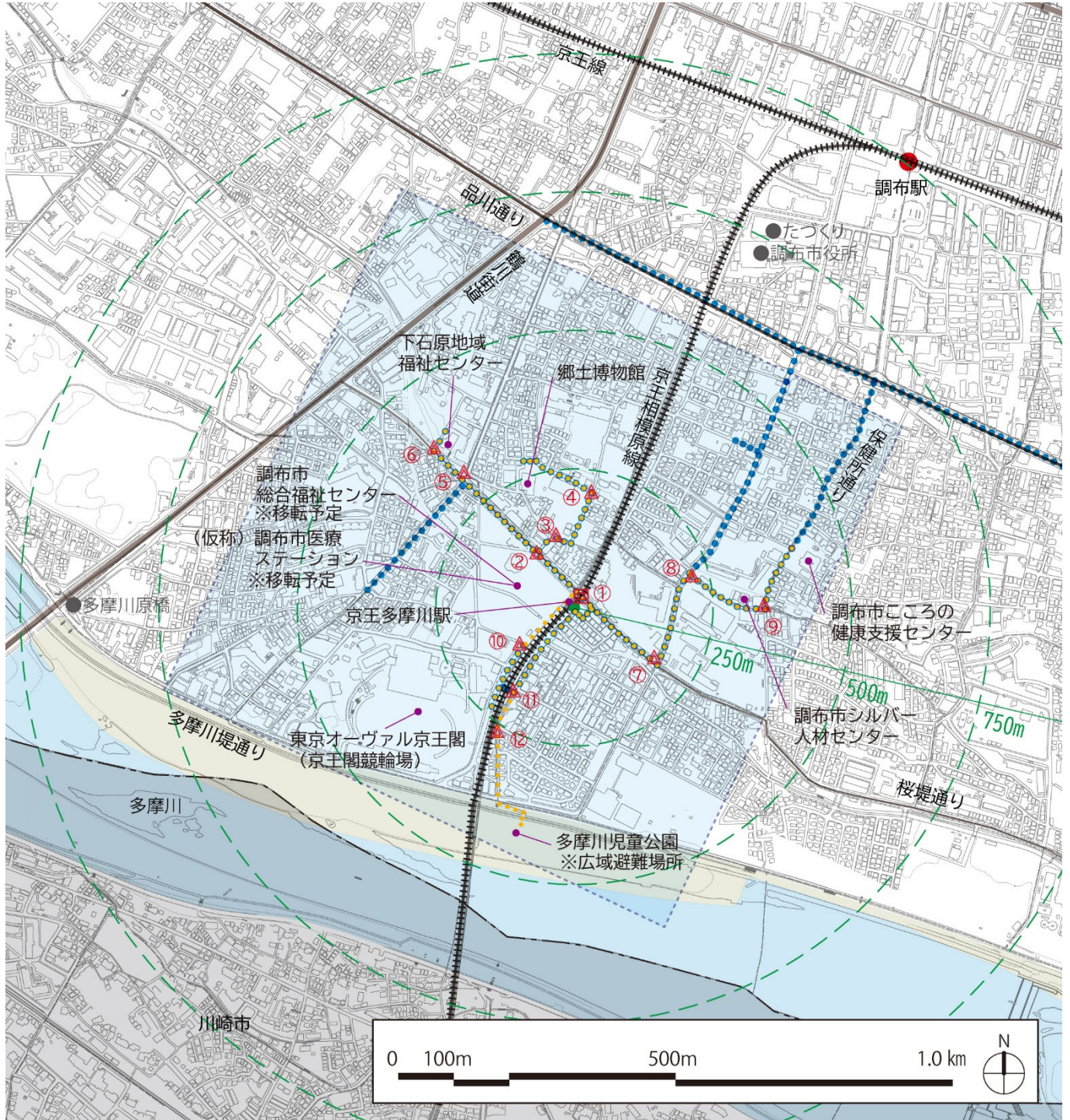
	分類	名称	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
西側	文化施設	郷土博物館	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	福祉施設	下石原地域センター	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
		調布市総合福祉センター	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(仮称)調布市医療ステーション	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	東京オーヴァル京王閣 (京王閣競輪場)	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
東側	福祉施設	調布市こころの健康支援センター	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-
		調布市シルバー人材センター	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
	公園	多摩川児童公園(運動公園)	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
中央	駅名	京王多摩川駅	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

方面誘導	通り名	鶴川街道	○	○	-	-	○	△	△	-	-	-	-	-
		桜堤通り	○	○	-	-	-	-	△	-	△	-	-	-
		保健所通り	○	-	-	-	-	-	△	△	-	-	-	-
		多摩川堤通り	○	-	-	-	○	-	△	△	-	○	△	△
	河川	多摩川	○	-	-	-	○	-	△	△	-	○	○	○







※整備状況によっては誘導対象施設の調整を行うことを可能とします。ただし、その際は、目的地までの誘導ルート（目的地から対象施設まで方向指示での誘導）を確保するものとする。

※「通り名」「河川」については、設置場所及びサイン形状によるスペースの状況より掲載の有無を判断するものとしてします。

■公共サインの配置・誘導ルート図／案内図の掲載範囲



凡例

	誘導対象		案内図掲載範囲
	案内サイン		誘導サイン
	誘導ルート		バリアフリールート
	誘導ルートかつバリアフリールート		

※「この地形図は、ミッドマップ東京の東京都縮尺 1/2,500 地形図（令和 7 年度版）を使用して作成したものです（承認番号：MMT 利許第 07-208 号）。無断複製を禁じます。」

## 第6章 今後に向けて

### 1. 整備の進め方

- ・ 駅周辺の整備進捗を踏まえつつ整備を進めていきます。また、整備状況により必要に応じて配置計画及び表示面の掲載内容の変更等を行います。

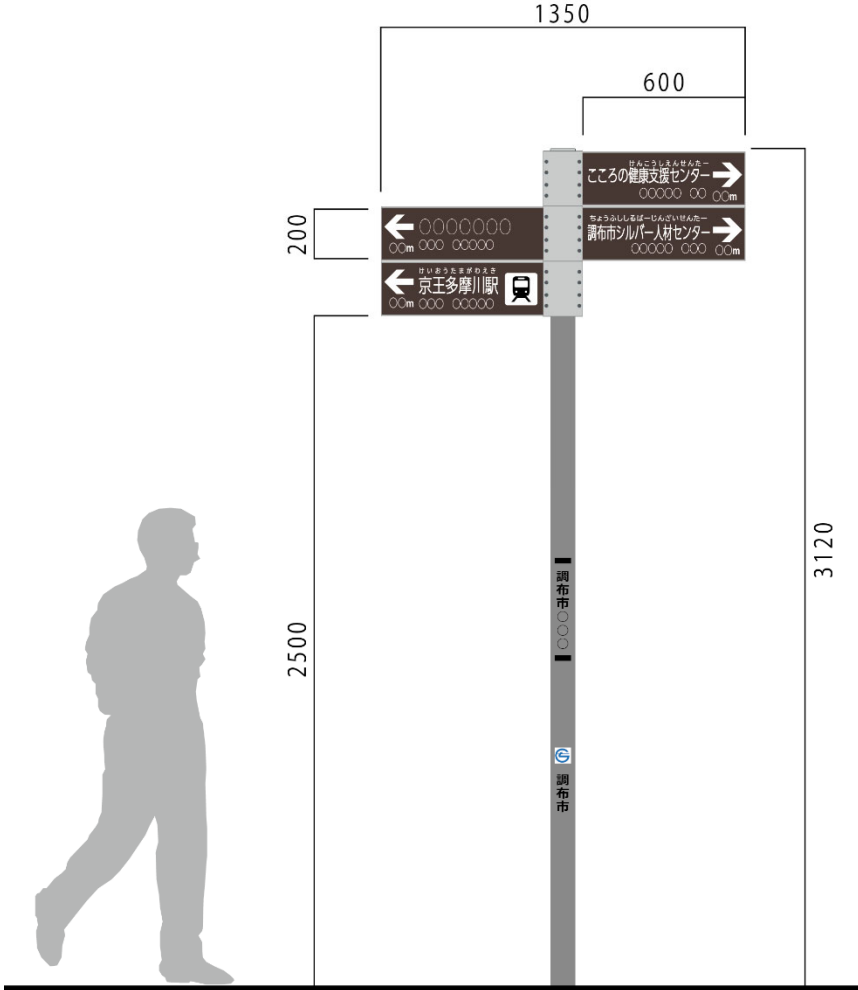
## ■各種サインデザイン

サインタイプ	立板【総合案内（案内+誘導）】		
参考寸法	W : 1250 × H : 2280 (mm) ※柱及び i マーク部分は除く 《地図面》 W : 1250 × H : 1000 (mm) ※凡例部等含む 《誘導面》 W : 1250 × H : 530 (mm) 《i マーク》 W : 400 × H : 500 (mm)		
器具	自立型	印刷方法	高耐侯性・高精細印刷
姿 図			
備 考	地図の中心部の高さは、地面より 1250mm 程度とする。 地図面については、周辺を基本とする。 地図面右側の上部に広域マップと凡例の表記を基本とする。 裏面については、設置状況を踏まえ、表示の有無を検討する。 「i マーク」の下端（歩道上）は 2,500 mm 以上を基本とする。		

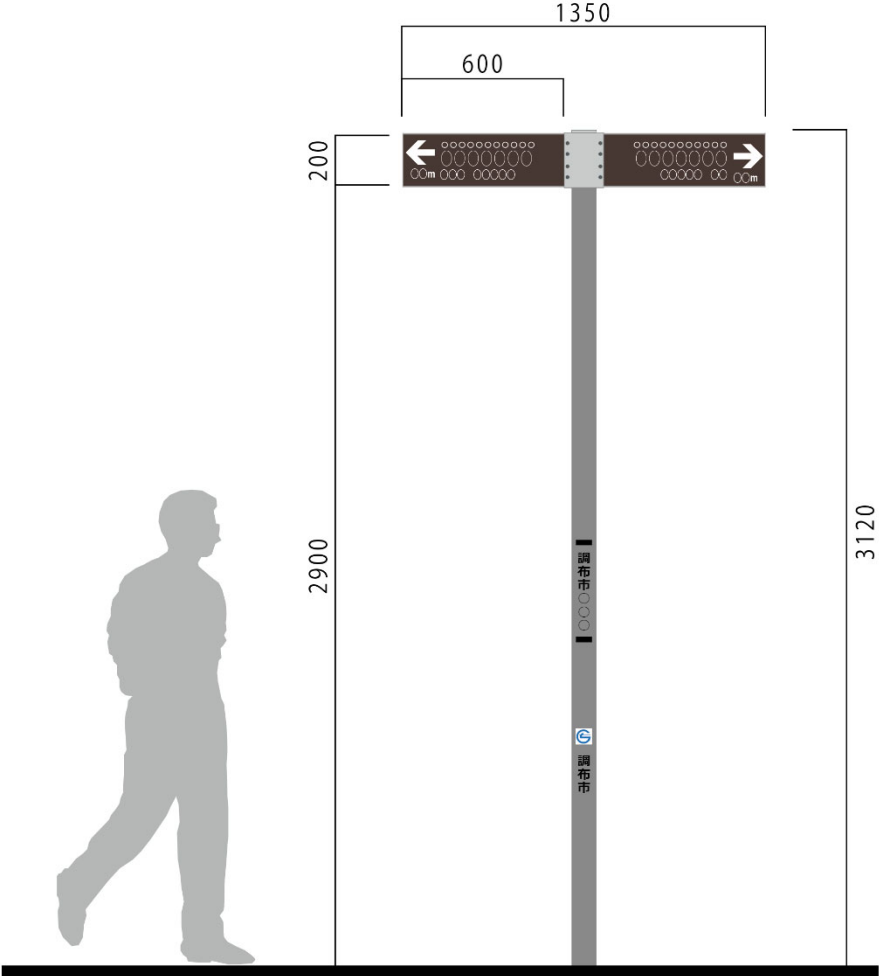
サインタイプ	壁付【案内】		
参考寸法	W : 1200 × H : 1300 (mm) 《地図面》 W : 1150 × H : 1150 (mm) ※凡例部含む		
器 具	壁付型	印刷方法	高耐候性・高精細印刷
姿 図	<p>The diagram illustrates the sign's dimensions and its placement on a wall. A silhouette of a person is shown for scale. The sign is 1200mm wide and 1300mm high. The map area is 1150mm wide and 1150mm high. The sign is titled '京王多摩川駅周辺案内図' (Keio-Tamagawa Sta. Surrounding Area Guide). Dimensions are labeled: 1200 (width), 1300 (height), 1150 (map width), 1150 (map height), and 1250-1300 (height from ground to map center).</p>		
備 考	地図の中心部の高さは、地面より 1250mm 程度とする。		

サインタイプ	立板【誘導①】		
参考寸法	W : 600 × H : 1950 (mm)		
器 具	自立型	印刷方法	高耐候性・高精細印刷
姿 図			
備 考	<p>裏面については、設置状況を踏まえ、表示の有無を検討する。</p> <p>表面については施設名称下部に、設置場所や表示面の煩雑状況を考慮しつつ、必要に応じて規制情報の掲載を検討する。</p>		

サインタイプ	立板【誘導②】		
参考寸法	W : 400 × H : 1950 (mm)		
器 具	自立型	印刷方法	高耐侯性・高精細印刷
姿 図	<p>The drawing illustrates the signpost's dimensions and appearance. The top view shows a 400mm wide sign with a 75mm thick post. The front view shows a 1300mm high sign with a 400mm wide panel. The back view shows a 1950mm high sign with a 400mm wide panel. The sign content includes '調布市 Chofu', '京王多摩川駅', and '郷土博物館'.</p>		
備 考	裏面については、設置状況を踏まえ、表示の有無を検討する。		

サインタイプ	羽板【誘導①】		
参考寸法	W : 1350 × H : 3120 (mm) 《羽板》 W : 600 × H : 200 (mm) ※1枚当たり		
器 具	自立型／両面	印刷方法	高耐候性・高精細印刷
姿 図	 <p>The diagram shows a signpost with a total height of 3120 mm. The sign panels are 200 mm high. The top section is 1350 mm wide, and the sign panels themselves are 600 mm wide. A silhouette of a person is shown for scale, with a height of 2500 mm. The sign panels display the following information:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Top panel: 京王多摩川駅 (Keio Tamagawa Station) with a train icon and distance markers (00m, 000, 0000).</li> <li>Middle panel: 調布市シルバー人材センター (Tama-shi Silver Human Resources Center) with distance markers (00000, 000, 00000).</li> <li>Bottom panel: こころの健康支援センター (Cocoro Health Support Center) with distance markers (00000, 00, 000m).</li> </ul>		
備 考	両面表示については，設置場所の状況を踏まえ検討する。		

サインタイプ	羽板【誘導②】		
参考寸法	W : 1350 × H : 3120 (mm) 《羽板》 W : 600 × H : 200 (mm) ※1枚当たり		
器具	自立型／両面	印刷方法	高耐候性・高精細印刷
姿 図	<p>Diagram illustrating the signpost dimensions and layout. The signpost is 3120mm high. The sign panels are 200mm high and 600mm wide. The total width of the signpost is 1350mm. A silhouette of a person is shown to the left for scale, with a height of 2700mm. The sign panels contain directional information for 'このころの健康支援センター' and '調布市シルバー人材センター'.</p>		
備 考	両面表示については、設置場所の状況を踏まえ検討する。		

サインタイプ	羽板【誘導③】		
参考寸法	W : 1350 × H : 3120 (mm) 《羽板》 W : 600 × H : 200 (mm) ※1枚当たり		
器 具	自立型／両面	印刷方法	高耐候性・高精細印刷
姿 図	 <p>The diagram shows a vertical signpost with a horizontal sign at the top. The sign is 600mm wide and 200mm high, with arrows pointing left and right and a dotted line pattern. The pole is 3120mm high. A silhouette of a person is shown next to the pole for scale. The sign is 1350mm wide from the center of the pole to the outer edge. The pole has '調布市' written vertically on it.</p>		
備 考	両面表示については、設置場所の状況を踏まえ検討する。		



## ■参考資料

「京王多摩川駅整備計画」の作成において、次の資料を参考にしています。

- ①調布市公共サイン整備ガイドライン  
(調布市 平成27年3月)
- ②調布市中心市街地公共サイン整備計画(布田駅・国領駅編)  
(調布市 平成28年3月)
- ③調布市中心市街地公共サイン整備計画(調布駅/第1期)  
(調布市 平成30年3月)
- ④調布市中心市街地公共サイン整備計画(調布駅/第2期)  
(調布市 令和6年3月)
- ⑤公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン  
(交通エコロジー・モビリティ財団 平成19年7月)
- ⑥改訂版 道路の移動円滑化整備ガイドライン  
(財団法人国土技術研究センター 平成23年8月)
- ⑦地図を用いた道路標識ガイドブック  
(財団法人 道路保全技術センター 平成15年11月)
- ⑧観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン  
(国土交通省 観光庁 平成26年3月)
- ⑨国内旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針  
(東京都 平成27年2月)

登録番号  
(刊行物番号)

2025-246

---

### 調布市公共サイン整備計画(京王多摩川駅)

---

発行日: 令和8年3月

発行: 調布市

編集: 都市整備部 まちづくり推進課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1

Tel 042-481-7442

※無断での転載、複製を禁じます

